非戦を選ぶ演劇人の会

それゆけ安全マン！？　～レントゲン・チェルノブイリ・フクシマ～

台本　相馬杜宇・清水弥生

※登場人物

解説者‥舞台の進行役

高木孝一・一九八三年当時の敦賀市長

先生

児童１～３

福島の高校生１

福島の高校生２

安全マン…東京電力社員

小出裕章…京都大学原子炉実験所助教

原子力産業会議顧問

電気事業連合会役員

プルト君

医師

看護師１

看護師２

原子力安全委員会１～３

広瀬隆…ジャーナリスト

東京都知事

相馬杜宇…作者

反対住民…浜岡原発に反対する住民

枝野幸男…二〇一一年当時の官房長官

原子力安全保安院

インタビュアー

御用学者１～３

高校生・有希

高校生・恵

高校生・智子

高校生・拓

社員１、２…電力会社社員

原発作業員Ａ、Ｂ、Ｃ

福島原発周辺の住民

大熊町職員

嶋橋美智子…原発作業員だった息子を亡くした母親

ミドリ…藤澤みどり。英国在住のライター

イアン…チェルノブイリ原発事故で被ばくした住民

ナスターシャ…チェルノブイリ原発事故で被ばくした住民

マルガルラ…オーストラリアの先住民

森瀧春子…ＮＯ　ＤＵヒロシマ・プロジェクト事務局長

ジャナン・ハッサン

市川定夫…埼玉大名誉教授

有希の母

飯舘村住民１～３

山下俊一…福島県立医科大学副学長

国立ガン研究センター研究員１、２

元経済産業省鉢呂吉雄大臣

福島の母１～４

武藤類子

プナール・デミルジャン

ラリータ・ラムダス

加藤陽子

大岡昇平

高木仁三郎…市民科学者

第一章　原発と地域振興

高木孝一市長　えー、今日は皆さん方、原子力といわゆる関係地域の問題等についての勉強会をおやりになろうということで、非常に意義あることではなかろうかと存じております。

解説者　一九八三年一月二十六日、石川県。

解説者　商工会主催の『原発講演会』に招かれた、

解説者　福井県敦賀市長、高木孝一。

高木市長　原子力発電所というものを正しく理解していただくために、原発を持つ町の首長として、快くはせ参じさせて頂いた次第でございます。さて、一昨年の四月でございましたが、

解説者　一九八一年四月、原発近海の海藻から異常に高い放射能が検出された。

解説者　原子力安全委員会の調査の結果、敦賀発電所一号機の排水溝から放射性物質が漏えいしたことが分かった。

解説者　漏れた放射性物質は平常時の十倍。

解説者　当初、原因は、放射性廃棄物処理を行っていた建屋の設計上の問題に、運転上のミスが重なったからとされた。

解説者　しかし、さらに調べると、その一カ月前に大量の放射能を含んだ水がタンクからあふれる「事故」が起きていたことが判明した。

解説者　敦賀発電所はその事実を隠していたのだ。

高木市長　新聞報道、マスコミは騒ぐけれど、私はなぜ騒ぐのかさっぱり分からない。その海藻を一年食ったって人体に影響はないって言うんですから。しかし、昆布が売れない。敦賀は全国の食用の昆布の八割を作っておるんです。が、その昆布が全く売れなくなってしまった。

まあ困ったことだということで、私は魚屋さんでも、民宿でも百円損したと思う者は精神的慰謝料五十円を含んで百五十円もらいなさいと言ったんです。ところが日本原子力発電の方は、もう面倒くさいから出して解決しますわと言いましてね、百円損した者に五百円払うって言うんですな。

一昨年の事故で大きな損をしたとか、事故が起きて困ったとかいう人は一人もおりません。まあ率直にいうなれば、一年に一回ぐらいは、あんなことがあればいいがなあ、そういうふうなのが敦賀の町の現状なんです。笑い話のようですが、もうホクホクなんですよ。何せ原発ができると電源三法交付金がもらえます。

解説者　電源三法交付金は、電源開発が行われる地方自治体に交付されるお金である。

解説者　主な目的は原発の建設促進と、円滑な運転。

解説者　原発の出力、実際の発電量、使用済み核燃料の貯蔵量などによって算定され、原発が立地し続ける限り何らかの名目で出る。

高木孝一・敦賀市長　で、三法以外のお金、まあ裏金ですね！　三法のカネは三法のカネとして貰うけれども、その他に地域の振興に対しての協力金をよこせ、というのが、それぞれの地域である訳でございます。例えば敦賀市の場合、敦賀２号機のカネが七年間で四十二億入ってくる。ただ「もんじゅ」がございますと万が一の危険がねえ…、というわけで、入ってくるカネが六十数億円になろうかと思っておるわけでございます。

まあそんな訳で短大は建つわ、高校はできるわ、運動公園はできるわ。そりゃあもうタナボタ式の街づくりができるんじゃなかろうか。そういうことで私は皆さんにぜひ原発をお薦めしたい。私は信念を持っとる！　…えー、その代わりに百年たって片輪が生まれてくるやら、生まれた子供が全部片輪になるやら、それはわかりませんよ。わかりませんけど、今の段階では原発をおやりになった方がよいのではなかろうか。こういうふうに思っております。

解説者　この講演が功を奏してか、会場となった志賀町には北陸電力の志賀原発１号機が建設され、運転を開始した。

解説者　高速増殖炉もんじゅはこの演説の二年後である一九八五年に着工、

解説者　九四年に試験運転開始、

解説者　翌九五年冷却材のナトリウム漏れ火災事故を起こして運転を停止。

解説者　二〇一〇年五月六日、十四年ぶりに運転を再開、

解説者　わずか百十二日後の八月二十六日、燃料交換に使う装置落下。

解説者　運転停止。

解説者　十四回にわたって落下した装置の取り出しを試みたが、

解説者　ことごとく失敗。

解説者　一日五千五百万円の税金をかけて維持したものの、

解説者　一㍗も発電しないまま、二〇一六年一二月、廃炉が決定された。

解説者　もんじゅの中のプルトニウムは少なくとも長崎型原爆の百倍以上と言われている。

解説者　敦賀市内にはもんじゅを含め三基の原子炉があり、

解説者　日本最大級の原発二基の増設も決まっている。

解説者　その下には分かっているだけでも三本の活断層が走っている。

第二章　安全神話

先生　みなさん、今、黒板に描いた絵は何だと思いますか？

児童１　電気ポット！

児童２　もっと大きいものなんじゃない？

児童３　宇宙船みたい！

先生　これは、原子炉格納容器と言います。この中で皆さんが使う電気を作っているんですよ。

児童たち へー、そうなんだー

先生　これを「原子力発電」と言います。今日はその仕組みについて東京から来た先生が教えて下さいます。

電力会社（安全マン）　東京電力から参りました。皆さんの生活のなかの電力の三分の一を占めているこの原子力発電というものは、石炭の七万分の一の燃料で同じだけのパワーを出すんですね。私が指で挟んでいる物は何だと思いますか？

児童１　小さくて見えないよ。

安全マン　これは「ペレット」と言って、中にウランが詰まっています。この直径一センチのペレット一個で、おうちで使う電気を八カ月から九カ月分作ることができるんですよ。

児童たち　すごーい！

安全マン　原子力発電は少しの燃料で安定した大きな電力を生みだすことができて、しかもＣＯ２が少なくてすみます。リサイクルもいずれできるようになる予定です。原子力発電は、資源の少ない日本において、ワクワクするような「夢のエネルギー」なのです！

福島の高校生１　福島の高校生です。私たちのクラブは、原子力エネルギーコンクール高校部門で優秀賞を頂きました！

福島の高校生２　東京電力が初めて建設・運転した福島第一原発は二〇一一年三月で営業運転開始四十周年を迎えます。福島第一原発は、福島県の大熊町と双葉町にまたがっています。

福島の高校生１　当時から現在まで、東京電力とこの地域の自治体の関係は、まるで男女の結婚生活のようです！

福島の高校生２　一九六〇年、福島県が原子力産業会議に加盟したことをきっかけに二人は恋に落ち、交際がスタート。水質調査や地質調査などの数々の試練を乗り越え、ついにゴールインしました。

安全マン　放射性物質は安全に取り扱う必要があります。でも心配要りません、原子炉は五重の壁で守られているんです。大きな地震や津波が起きたとしても、放射性物質が漏れないよう、頑丈に作られています。

福島の高校生１　雇用機会の拡大、町の経済の活性化と、幸せな日々が続きました。

〈大きな爆発音が聞こえる〉

解説者　一九八六年四月二十六日午前一時二十四分、旧ソ連のウクライナ、チェルノブイリ発電所の第四号炉が爆発した。

解説者　この事故による放射能汚染被害は、広島型原爆の五百倍から六百倍と言われている。

解説者　放射能は北半球全体にばらまかれ、ベラルーシ、ウクライナ、ロシアだけでも九十万人以上が被災し、四十万人が移住させられた。

解説者　チェルノブイリから約八千㌔離れた日本でも、野菜・水・母乳などから放射能が検出された。

〈原子力産業会議顧問登場〉

原子力産業会議顧問　原子力産業委員会の顧問です。チェルノブイリは確かに大事故でした。しかし、人間の活動には常にリスクが伴います。原爆の怖さを知った上で原子力は使われています。平和利用にだけその力を使ってほしいという被爆者の悲痛な叫びに支えられ、今日まで続いてきました。その過程は風化させてはなりません。

〈京都大学原子炉実験所の小出裕章助教登場〉

小出助教　京都大学原子炉実験所にいました小出裕章です。私たちがどんなに願ったところで、破局的事故の可能性は残ります。そこで、原子力を推進する人たちはどういう対策をとったかというと、破局的事故はめったに起きない、そんなことを想定することはおかしいと。だから想定不適当という烙印を押して、無視してしまうということにしたわけです。どうして破局的事故が起きないかというと、これは…

〈わー、という拍手に小出の声はかき消される〉

電気事業連合会役員　電気事業連合会からのご報告です。電力会社各社は、二〇一〇年度までに全国で十六基から十八基の原子力発電所でプルサーマルの導入を目指し、各社とも経営の最重要課題として取り組んでいます。

小出助教　ウランはもちろん掘ってくるわけですけれども、プルトニウムという物質は地球上には一滴もありません。ウランを核分裂させて、人工的に作りだすのです。そのため、原発から出てくるプルトニウムを再処理して、高速増殖炉もんじゅを中心とする核燃料サイクルで利用する、という構想を練ったわけです。しかし、もんじゅの計画は頓挫している。余ったプルトニウムの使い道として、ウランとプルトニウムを混ぜたＭＯＸ燃料を使用することが考えられました。これがプルサーマル計画です。

福島の高校生１　福島の高校生です。プルサーマル計画が発表されたのを受け、福島県と大熊町・双葉町は東京電力に導入の意志を伝えました。結婚生活は順調でした。

福島の高校生２　しかし、二〇〇二年、東京電力が、点検作業時に見つけた原子炉のひびの数を少なく報告。

福島の高校生１　さらに原子炉内に工具を置き忘れていたことが発覚。

福島の高校生２　自治体から東京電力へプルサーマル計画の一時凍結が言い渡されました。離婚届です。

福島の高校生１　東京電力は信頼を取り戻そうと必死で努力しました。

〈音楽に合わせて、プルト君が現れる〉

プルト君　こんにちは、みなさん。僕はプルトニウムのプルト君です、どうぞよろしく。

解説者　『プルトニウム物語　頼れる仲間プルト君』。

解説者　動力炉・核燃料開発事業団、

解説者　現在の日本原子力研究開発機構が広報用に制作したアニメーション。

プルト君　僕は長崎型原爆に使われてしまいましたが、本当は平和に働くことが大好きなんです。例えば僕は飲んだらすぐ死ぬというような劇薬ではありません。皮膚に触れた場合でも吸収されることはありません。飲み込まれて胃や腸に入った場合も、ほとんどが排せつされて身体の外に出てしまいます。

小出裕章・京都大学原子炉実験所助教　違う！　プルトニウムは飲み込まれた場合には、たしかにほとんどが排せつされるけれど、呼吸で取り込まれた場合には排せつされにくく、肺に達すると、二八㍃㌘という極めてわずかな量で百パーセント肺がんを発生させるといわれている猛毒だ。

〈青白い閃光が走る〉

解説者　一九九九年九月三十日午前十時半ごろ、茨城県那珂郡東海村の核燃料加工工場であるＪＣＯで事故が発生、三人の作業員が被爆し、内二名が死亡した。

解説者　「臨界事故」である。

解説者　ＪＣＯ臨界事故で被ばくした作業員、大内久さんを診た医師は当時を振り返る。

医師　放射線の量、減り続けるリンパ球などのデータはかなり深刻なものでしたが、楽しそうに家族の話をしていました。重症患者には見えませんでしたね。しかし…、染色体がばらばらに破壊されたということは、今後新しい細胞が作られないことを意味しています。全身すべての臓器の検査値が刻々と悪化の一途をたどり、ダメージを受けていくんです。

看護師１　看護記録ノートより。最初は医療用のテープを貼った痕が消えなくなりました。そのうちテープを貼ったところの皮膚が引っ付いて、テープを剝がすと全部とれてしまうということが起こって…、最終的にはテープが一カ所も使えなくなりました。

医師　入院したときの右手は、一日で一気に日焼けしたぐらいの赤さで、少しはれているだけだったんですね。二週間たったころから表面が徐々に水ぶくれになっていきました。最も多くの放射線を浴びたんでしょうね。

看護師２　目も乾燥しやすいし、出血しやすくなって、目から出血して、なんかこう、血の涙が流れているような感じでしたね。

看護師１　身体のほとんどをガーゼで覆わなければならなくなってしまって…。皮膚が失われたところから、血液や身体の水分がしみだしていました。毎日毎日しみだしがすごくて、ガーゼの交換をするのに、半日かかるんですね。すごく痛々しかった。

看護師２　ここにいる人は何なんだろう。誰なんだろうではなく、何なんだろう。ぼろぼろになって、機械につながれた体がある。自分たち看護師は、その体を維持するために、乾きそうな角膜を維持するために、はげてきそうな皮膚を覆うために、そういう処置ばかりどんどん続けなければならなかったんです自分は別に角膜を守りたいわけではない。大内さんを守るためにやってるんだ。そう思わないと耐えられないケアばかりでした。（以前の）大内さんを思い出しながらでないと、自分のやっていることの意味が見いだせないような、そんな毎日でした。

解説者　原子力安全委員会の報告書。

原子力安全委員会１　今回の臨界事故は、わが国原子力平和利用史上前例のない大事故でした。

原子力安全委員会２　事故の直接的原因としては、作業員が作業手順を逸脱し、「使用目的が異なり、また安全設計されていない容器に、制限値以上のウラン溶液を注入したこと」にあります。

原子力安全委員会３　今回の事故を契機に、安全確保における自己責任を再認識・徹底するとともに、守るべき「当たり前のこと」いわば基本ルールを順守させることが必要です。

電力会社（安全マン）　これは原発の事故ではないから、原発の安全性の問題とは無関係です。原子力発電所は徹底した安全管理により、運用されております。

広瀬隆氏　それほど安全ならなぜ大都会「東京」に原子力発電所を建てないのか。

解説者　広瀬隆氏は著作「東京に原発を！」で現状を嘆いている。

広瀬氏　今こそ東京人を目覚めさせるために、都庁の新庁舎を押しのけても、新宿のど真ん中に原子炉をドカンと据え付け、轟然（ごうぜん）とタービンを回転させなければならない。

東京都知事　東京都知事です。結構じゃないか。日本の原発の管理体制は世界一ですからな。東京に原発を造ることで、世界に日本の技術をアピールできるのであれば、造ったっていいと思うね。

広瀬氏　そうじゃない！　原発みたいな時限爆弾を持ちたいなら、東京都民も自分の身を危険にさらせということだ！

東京都知事　原発に反対するなんて全く訳が分からないね。日本は完璧な管理技術を持っているというのに。…まあマグニチュード９とか十㍍の津波とかあれば別だがね。

相馬杜宇氏　今回の台本を書きました相馬杜宇です。三年前、取材で浜岡原発に行ったんです。地元で反対運動をされている方に案内していただいたんですが、敷地に入るなり、警備員が後をつけてくるんです。はじめは気のせいだと思ったんですが、すれ違う職員、ミュージアムのガイドさん、さらには売店のおばさんまで悲しみともあわれみとも取れる視線をこっちに向けてきます。たまらず案内して下さっていた方に聞きました。すると、こう仰有ったんです。

反対住民　ああ、私が連れてきたお客さんだからでしょう。地元で反対運動している人間はマークされてるんです。私の車が敷地に入ると全職員に知らせがいくらしいですよ

相馬氏　この異常としか思えない警戒態勢を「体験」して、原発はこうまでしなければ守れないものなのかと、これまで以上に危機感を感じました。でも次に聞いた話はさらに衝撃でした。

反対住民　ここには時々救急車や消防車がやってきます。でも、その理由をここらに住んでいる人間が知ることはありません。私もごくたまに東京の記者から情報をリークしてもらっている程度です。だから知らないんです、ここで何が起きているのか。

相馬氏　テレビでは原子力発電がいかに安全なものなのか盛んに宣伝しています。僕自身、「基本的には安全だけど、もしものことを考えたら絶対マズイ」くらいに考えてました。でも月に一度救急車や消防車が来るって、もう全然安全じゃないでしょう。認識が甘かったと思い知らされました。まだあるんです。そろそろ帰ろうかと思っていた時でした。案内して下さった方がおもむろに地面の白い石を拾い上げて、

反対住民　これがこの辺一帯の地盤となっているサガンです。どうぞ握ってみてください。

相馬氏　渡された白い石は握ると簡単に砕け散りました。「サガン」は砂の岩と書くんだそうです。砂が固まってできた、岩とも呼べないものなんです。こんなものの上に原発が立っていると思うとゾッとします。今浜岡原発は止まってます。頼むから再度稼働させるためじゃなくて、停止した状態でちゃんと東海地震に耐られるように、安全対策を考えて欲しいです。いや、僕も真剣にどうすればいいか考えていきます。

福島の高校生１　福島の高校生です。結婚生活には本当にいろいろなことがあったけど、真剣に向き合ってきたからこそ、現在の東京電力と大熊町、双葉町の信頼関係があります。

福島の高校生２　今回、私たちは大熊町の町民に対してアンケートを行いました。回答数は三十九人でした。

福島の高校生１　「原子力発電所があってよかったですか？」という質問に対し、良いという声が半数を超えたんです。原子力発電所によって雇用機会の拡大、町の税収増加による生活環境の整備、福祉向上などが理由でしょうか。

福島の高校生２　また、「これからの原子力発電所にどんなことを期待しますか？」という質問に対し、一番多かった回答が「安全・安心」だったため、これからも安全・安心な原子力発電所を心掛けてほしいと願っています。

〈すさまじい地響きがする〉

第三章　三・一一後

解説者　二〇一一年三月十一日十四時四十六分十八秒、三陸沖でマグニチュード９・０の地震発生。

解説者　福島第一原発１号機から３号機が地震により自動停止。

解説者　外部電源喪失により、非常用ディーゼル発電機に切替。

解説者　津波により非常用ディーゼル発電機が停止。電源喪失。

原子力安全保安院　このたびはお騒がせしております。経済産業省原子力安全保安院です。原発周辺のモニタリングポストなどに異常はなく、放射能漏れなどは検知されておらず、電力会社から火災や故障の報告は入っておりません。安全でございます。安心してください。

解説者　１号機、２号機の非常用炉心冷却装置、注水不能。

解説者　政府が原子力緊急事態を宣言。

枝野幸男・官房長官　官房長官の枝野がご報告をいたします。先ほど、原子力安全対策本部を設置いたしまして、原子力災害の拡大の防止を図るための応急対策が必要であると認められたため、原子力緊急事態宣言が発せられました。

〈騒然となる〉

枝野官房長官　落ち着いてください。原子炉はしっかりと停止いたしました。現在のところ、放射能が施設の外に漏れている状態ではありません。ただ、停止をした原子炉は冷やさなければいけません。この冷やすための電力についてのみ、対応が必要であるという状況になっております。くれぐれも落ち着いて、特に原発の近くにお住まいの皆さんは、落ち着いて対応していただきますようお願い申し上げます。

解説者　一号機の原子炉内の水位が大幅に低下していることが判明。

解説者　一号機の原子炉格納容器の圧力が異常上昇。

解説者　設計圧力の二倍。

解説者　正門前の放射線量が通常時の二十倍、

〈「二十倍？」の声〉

解説者　一号機の中央制御室では千倍と発表。

〈「千倍！」の声〉

インタビュアー　今日は長年原子力をご専門に研究なさってきた先生方をお招きしています。

先生方、心配なニュースが入ってきましたが、

御用学者１　千倍と聞くと驚かれるかと思いますが、値にすると一時間あたり一五〇㍃シーベルト、胃のレントゲンの四分の一程度です。

御用学者２　ご安心下さい。

御用学者１　自然界にも放射能は存在していまして、普段から一㍉シーベルト、つまり一〇〇〇㍃シーベルトは浴びてるんです。全く心配する必要はありません。

御用学者２　大丈夫です。

解説者　１号機の原子炉建屋爆発。

解説者　圧力を下げるために排出された水素が充満したことが原因と考えられる。

インタビュアー　爆発しました！

御用学者２　落ち着いてください。

御用学者３　爆発って言ってもですね、これは水素爆発であって、チェルノブイリとは全く違います。ここ誤解されないようにお願いします。

インタビュアー　映像を見る限り天井は骨組みだけになっているようですが、放射能が漏れだすなんてことは…

御用学者達　ありません！

御用学者３　壊れたのは原子炉建屋でしょう？　放射性物質の入っている圧力容器は厚さ十六㌢、

御用学者２　鋼鉄です。

御用学者３　さらにその外側の格納容器は厚さ三㌢、

御用学者２　鋼鉄です。

御用学者３　そういう強固な壁に覆われているんです。

インタビュアー　しかし天井が吹き飛んだ原子炉建屋は厚さ二㍍のコンクリートなんですよね？

御用学者３　いやいや、コンクリートと鋼鉄は全然違うでしょう。

インタビュアー　メルトダウンの可能性はないでしょうか。

御用学者達　ないないない。

御用学者３　原子炉建屋が壊れたおかげで注水もしやすくなりました。冷やしている限り、核燃料の温度は安定していますから。

御用学者２　あとは冷やすだけです。

御用学者達　ご安心下さい。

解説者　１号機に海水及びホウ酸の注入を開始。

解説者　３号機の冷却装置作動せず。

解説者　原子炉内の水位低下。温度急上昇。

解説者　核燃料の一部にメルトダウンを確認。

インタビュアー　（御用学者達に）あの、メルトダウン起こったようですが……

〈御用学者達、去る〉

インタビュアー　あれあれあれ？　お待ち下さーい！

〈御用学者達、行ってしまう〉

解説者　３号機の原子炉建屋水素爆発。

解説者　２号機でも爆発音、サブレッションプール破損。

解説者　正門付近で一時間あたり八二一七㍃シーベルトを計測。

枝野官房長官　枝野です。福島第一原子力発電所より二十㌔㍍以内の方々は退避してください。三十㌔㍍以内の方々は屋内待機でお願いします。

解説者　２号機、３号機付近で最大一時間あたり四〇〇㍉シーベルトを計測。

解説者　一㍉シーベルトは一〇〇〇㍃シーベルトにあたるため、これは四〇万㍃シーベルトに相当する。

〈「四〇万？」、「胃のレントゲン六百六十七回分だ」の声〉

枝野官房長官　枝野です。原子力発電所の周辺と半径二〇キロ付近について、文部科学省がモニタリングを開始いたしました。本日測定をされた数値はただちに健康に影響を及ぼす数値ではありませんので、ご安心いただければと思っております。

インタビュアー　広瀬隆さん、どう思われますか？

広瀬氏　もうド素人です。「ただちに健康に影響はない」ってどういうことなのか。冗談じゃないです。ガンなんて何年たったって出る可能性はあるでしょ。

インタビュアー　メディアをみてますと、専門家が胃のレントゲンと比較して大丈夫だと言ってるんですけど…

広瀬隆氏　あんなのは専門家でも何でもない、「エセ学者」です。あれは「年間」一㍉シーベルトなんです！ 今日第一原発で計測されたのは「毎時」四〇〇㍉シーベルトです。ということは、通常の三百五十万倍ですよ！　なんで大丈夫なんですか？ 彼らは一瞬受けるレントゲンと比較してますけど、そんな問題じゃないんです。放射性物質が出てるから放射線が出てるんです。それを体の中に取り込む体内被ばくが怖いんです。もし吸い込んで体の中へ張り付いたら、目の前にある時の何億、何兆倍にもなるんです。

インタビュアー　つまり、レントゲンと比較してはいけないのは、あれは単なる放射線で、怖いのは放射性物質だってことですか。

広瀬氏　そうです。放射線が東京まで飛んでくるって、そりゃあ無いですよ。でも物質は空を飛んできます。メルトダウンが始まったら、燃料棒の中にあるヨウ素なんてのはすぐにガスになりますから、爆発で天井抜けちゃってますし、どんどん出てるはずなんです。

インタビュアー　放射性物質を測定する方法はないんでしょうか？

広瀬氏　かなり高度な分析器が必要です。モニタリングポストじゃどうにもなりません。あれは空中を飛んでる線量を測るだけですから。重要なのは今物質がどれくらい出ているかなんですが、そういうことは今の体制ではおそらくできないですね。

インタビュアー　だとすると知らないうちに放射性物質が出ていって、全国各地で体内被ばくを引き起こすって可能性も否定できないですね。

広瀬氏　雨が降ったり、雪が降ったりすれば、それが水や土を汚染していきます。当然飲み水や食べ物にも影響が出ます。

インタビュアー　逃げようがないですね。

広瀬氏　とうとう、私の孫の高校生も言い出しましたよ。「外国いく」って。「だって、俺黙って死ぬのは嫌だから」って。正しいでしょ？　今そういう状況なんです、本当に、事実を知ったら。だから軽々しく言っちゃいけないんですよ、「安全です」とか「ただちに影響は無い」とか。今、日本人は「正しいパニック」を起こさなきゃいけないんです。

第四章　決断

解説者　とある高校の演劇部員達。部長の有希。

有希　母が六ヶ所村の再処理工場の反対運動をしてた影響で、広瀬隆さんの「危険な話」は読んでいたんです。なので今回おっしゃってた事はすんなり入ってきました。本の内容と重なる部分も多かったですし。二十四年も前に出された本に書いてあったのに、なぜ今回の事故が防げなかったのか、やるせなさが募ります。ただ、テレビに出てくる専門家は事実を隠したり、ぼかしたりするばかりだったので、よく言ってくれたと、母とテレビの前で拍手しました。…でも、演劇部の仲間の反応は違っていたんです。

解説者　恵。通称メグ。

恵　やめて、危ないとか大変とか言われると、ノイローゼになりそう。

解説者　拓。すし屋のせがれ。

拓　パニックに正しいとか間違ってるとかあるんですか？　ネットじゃかなりたたかれてましたよ。菅直人にも腹立つけど、殺すなら広瀬隆だって。

解説者　智子。東大志望。

智子　広瀬さんがエセ学者呼ばわりしている中には、私が志望している東大理科一類の教授も入っています。はっきり言って不愉快です。

有希　違う！　そうじゃない！　でもあれもこれも言わなければと思うと焦ってしまい、うまく説明できません。いっそ広瀬さんの「危険な話」をコピーして配ろうかとも思いましたが、あたしの自己満足でしかないような気がして、やめてしまいました。それからの何日かはもんもんと過ごしました。

解説者　三月十九日、福島県内で採取された牛乳、茨城県内で採取されたホウレンソウから、暫定基準値を超える放射線量を検出。

解説者　三月二十一日、菅首相は福島、茨城、栃木、群馬県のホウレンソウとカキナ、福島県の原乳について出荷自粛を指示。

枝野官房長官　枝野です。是非皆さんにしっかりと御理解、御認識をいただきたいのは、いわゆる暫定基準値を超える数値が測定されておりますが、これは人体に影響を及ぼすような数値ではないということでございます。

解説者　二〇一一年三月二十三日、政府は茨城県の原乳とパセリ、福島県のホウレンソウ、コマツナ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、カブなどの出荷自粛を指示。

解説者　東京都は葛飾区の金町浄水場の水道水から乳児の摂取基準値の二倍にあたる放射性ヨウ素を検出したと発表。乳児に水道水を与えるのを控えるよう呼びかけた。

解説者　四月四日、厚生労働省は茨城県北茨城市で水揚げされた「コウナゴ」から一キロ当たり四〇八〇ベクレルの放射性ヨウ素が検出されたと発表。

解説者　魚介類に含まれる放射性ヨウ素について、国は基準値を定めていなかったが、四〇八〇ベクレルは野菜の基準の約二倍に当たり、「慎重な検討を要する」との所見を茨城県に伝えた。

解説者　茨城県は県全域でコウナゴ漁中止を決定。

有希　広瀬隆さんの言う通りになってます。

拓　魚から放射能が出て以来、うちの店はガラガラです。もろ風評被害ですよ、福島や茨城の魚は仕入れてないのに。でもこんな時にすし食べようなんて思わないよなって気もします。バイトの韓国人が国帰ったおかげで店手伝わされるし、小遣いカットだし、もう最悪ですよ。

智子　食品から放射能が検出されて以来、テレビに出ている専門家の多くは「三百年メチャメチャ食べて初めて健康に影響が出る程度」とか、「私が食べるから送ってくれ」とか、専門家とは思えない非科学的な発言を繰り返しています。残念なことに東大の先生も言っていました。

恵　政府の対応にはものすごく腹立ってます。こんなになる前にできることあったんじゃないですか。うちのパパ、電力会社に勤めてますけど、もう一週間会社に泊まりこんでます。家に帰ってきても着替え取ってすぐ行ってしまいます。政府ももっと汗流すべきでしょう。

有希　演劇部のみんなと考えていました、事実を知った私たちに何ができるのかを。そして決めたんです、原発問題をお芝居にしようと。

智子　「なぜこれほど危険なものが作られ、増え続けてきたのか」がテーマになる気がしています。単に電気を供給するためだけではないと思うんです。早速リサーチを始めます。

拓　部活で原発の話やるって言ったら、親が店手伝わなくていいって言ってくれました。ラッキーって思いましたが、その分テキトーなものにはできません。すし屋のせがれとして、このやりきれない思い、舞台上で思いっきりぶちまけてやります。

有希　明日みんなで資料を持ち寄ります。それを元に台本にするのは私です。責任重大ですが、今だからこそ伝えられることがあると思っています。

恵　難しい本を読むのは苦手なので、何か他のことで役に立ちたいと思いました。ネットで検索掛けたりもしましたが、あまりピンとくるものはなく、どうしよう…？　と思っていた時でした。パパが帰ってきたのです。一週間ぶりに会うパパはまた一回り痩せていました。……そういえばパパは今回の事故のことどう思っているんだろう？怒り？悲しみ？電力会社の社員の生の声って台本にも使えるんじゃない？そう思い、肩をもんであげながら、（父親に）ねえパパ、今度原発のことを芝居にするんだ。

父親（安全マン）　駄目だ。

恵　どうして？

安全マン　原発の危険をあおってどうするんだ。

恵　あおってるわけじゃないよ。けど危険なのは事実でしょ、放射性物質とか。

安全マン　放射性物質の何が危険なんだ？

恵　…内部被ばくとか…

安全マン　内部被ばくがどうしたんだよ。

恵　放射性物質が体に入って、はり付いて、

安全マン　どこに。

恵　それは…。

安全マン　やめなさい。付け焼き刃の知識でやったって、誤解を与えるだけだ。

恵　いや、そうならないようにするって。

安全マン　そんな芝居やるなら演劇部辞めなさい。原発の広報の娘が原発反対の芝居に出るなんてしゃれにもならん。

恵　原発の広報？　初めて知りました。演劇部のみんなにはホント申し訳ないけど、今度の芝居は出演できそうにないです。

拓　マジかよ。

有希　当然説得に行くよね。

拓　誰を？

有希　メグ先輩のパパに決まってるでしょ。

第五章　安全マン①

〈安全マン（恵の父親）と社員達が歌う〉

「安全マンの歌」

切り開かれる森の木々

吐き捨てられるＣＯ２

これじゃ地球はおしまいだ

ボクらの明日はどこにある

原子力とは危険だと

デマをバラまくハンカク獣

これじゃ地球はバラバラだ

ボクらの今日はどこにある

核分裂をコントロール、制御棒！（制御棒！）

中性子を素早く減速、軽水炉！（軽水炉！）

地球温暖化を食いとめろ！

プルサーマルは世界を救う

夢と安全のエネルギー、それは原子力！

科学の味方　人類の味方

原子力戦士　安全マン！

〈歌っている最中に部員達が現れる〉

有希　恵を芝居に出させてください。

安全マン　まだそんなこと言ってるのか。それより、君たちこそ原子力についてきちんと勉強するべきなんじゃないのか？

智子　してますよ、原子力の危険性について。

社員１　確かに今回は想定外の事態もあった。それは認めよう。

安全マン　しかし今回の事故を踏まえて、高さ十二㍍の防波壁や、非常用発電機の屋上設置など、万全の対策を練っている。

社員２　地震が来ると言われている地域の原発は止めた。

有希　放射性廃棄物の問題は？　一つの原子炉から、一年間で広島に落とされた原爆千発分も放射能を持ったゴミが出るんだよ。

拓　しかも放射能の影響がなくなるまで十万年かかるって言うし。

智子　その間、安全に保管できる保障あるんですか。

社員２　それについては地層処分が検討されている。

社員１　ガラスに溶け込ませてステンレス製の容器に入れ、地下五百から千㍍のふかーい所に閉じ込める方法だ。

社員２　ウランやプルトニウムの含有量は、０・５％以下で、ガラスもホウ素の含まれたものを使う。

社員１　ホウ素は中性子を吸収する物質だ。

社員２　だから容器の中で臨界状態になることはない。

社員１　容器を破って放射性物質が地中に染み出し広がることもない。

〈電力会社の社員が、有希ら高校の演劇部員たちに放射性廃棄物は地層処分が検討されていることを説明している〉

有希　でもそれって二〇三八年からでしょ。今候補地募ってるけど、反対運動が根強くてなかなか進んでないはずだよ。

智子　立候補してたところも今回の事故で考え直そうって動きありますよね。

拓　当然だろ、いくら地下深く埋めたって、活断層の上だったりしたら地震来るたびにビクビクしなきゃなんないし。

社員２　そんなことにならないように処分地はあと二十年以上かけて慎重に選ぶんだ。

有希　立候補する自治体が限られてる以上、「ぜいたくは言ってられない、ここに決めちゃえ！」ってことになったりしない？

社員１　ありえないね。私たちは今回の事故で安全管理の必要性を学んだのだから。

拓　俺は政府も電力会社も都合の悪いことは隠すんだって学んだけど。

社員２　今回の地震でただでさえ厳しい地方自治体の財政がますます悪化している。今後名乗りをあげる自治体も増えてくるはずだ。

智子　え、被災地に埋めるっていうんですか？

有希　人の弱みにつけ込むわけ？

拓　また津波とかきたらどうすんだよ。

社員１　別に強要するわけではない。あくまで立候補して下さるなら、地質調査させていただくというだけだ。

安全マン　んん？　君らは地層処分は不満なのか。

拓　不満。

有希　安全とは言えないでしょ。

智子　地下深くにあるってことは何かあった時の対応も難しいですし。

安全マン　じゃあどうすればいいと思う？

有希　とりあえず原発を止めて、放射性廃棄物は出ないようにして、

安全マン　そんなことを聞いているのではない。今、既に六ヶ所村の再処理工場に集められている放射性廃棄物をどうすればいいのか聞いてるんだ。危険だと言ったところで消えてなくなるわけじゃないんだぞ。

社員２　どうするんだよ、モンゴルも断ってきたのに。

拓　それだけ危険だってことだろ。

安全マン　この世に百パーセント安全なものなど存在しない。放射性廃棄物がある、原発があるという現実を受け入れて、その上でリスクを減らすことを考えるのが賢明だ。

智子　原発を稼働させてる以上、リスクは増え続けますよ。

安全マン　確かに放射能のことだけ考えればそうだ。でも世の中放射能のことだけで回っているわけではない。さまざまな問題を総合的に見極める必要があるだろう。

有希　何、総合的に見極めるって？

社員１　まず発電量の問題がある。

社員２　二〇一一年三月時点で、原子力発電は日本の電気の３０％を担ってるんだ。

智子　おかしいですね。今までで一番電気を使ったのは二〇〇一年の七月二十四日十五時の一億八二六九万㌔㍗です。「電気事業便覧」によれば、もし今それと同じ量の電力を使ったとしても、七百九十二万㌔㍗余るって言うじゃないですか。

拓　え、３０％足りなくなるんでしょ？

智子　それがトリックなんです。必要な電力の３０％を、電力会社が原発を使って発電しているのであって、原発がないと電力が３０％足りなくなるわけでは無いんです。

有希　３０％担ってるんじゃなくて、担わせてるわけね、電力会社が。

社員１　じゃあこれならどうだ。三十年前まで日本は発電の７０％を石油による火力発電に頼っていた。

社員２　石油を使って発電するとＣＯ２が大量に出て、地球の気温はどんどん上がってしまう。

社員１　原子力発電のおかげで、発電に使う石油使用量は１０％まで下げられたんだ。

智子　ですけど原子炉で発生する熱の三分の二は海に放出されるんですよね。

有希　原発の周りの海って水温が七度も高いんでしょ。

拓　ちっとも環境に優しくないじゃん、二酸化炭素は放出しないにしたって海は温めてんだし。

智子　それに、原発ってたいがい大都市まで遠いから、高圧線を通るうちに電力の半分近くが熱になって大気に放出されるって聞きますけど。

社員１　でもコストを考えたら原子力に勝るものはないんだ！

拓　事故がある度に補償費用もかかんのに？

社員１　今回は特殊なケースだ。

智子　もしもの時にはそういう費用も必要になるってことは考慮すべきなんじゃないですか？

有希　それだけじゃないよ。使用済み核燃料の処分や再処理にかかっている費用がコストにちゃんと計上されてないし。

社員２　計上されてるじゃないか。

社員１　全体の１０％も占めている。

有希　足りないよ、全然。ＭＯＸ燃料の処分費用は対象外だし、再処理に関しては六ケ所村の工場のものしか計上されてない。もんじゅにかかる費用も除外されてるんだから。

社員１　もんじゅは止まってるだろ。

智子　それでも一日五千五百万、年間二百億円の維持費が掛かってます。

有希　使用済み核燃料の処分にかかる費用、リスクの両面から考えて、原発を動かし続ける理由は無いでしょ。

拓　そうだ！

〈部員達、拍手〉

〈社員達が安全マンを見る〉

安全マン　よく勉強してきたようだな。しかし大事なことを見落としている。原発は地域振興に貢献してきたんだ。

智子　地域振興どころじゃないでしょう、事故起きたら。

安全マン　果たしてそうかな。

住民１　娘婿も、孫も東京電力で働いています。原発のおかげで町が潤ったのは事実です。道路もよくなる、建物もよくなる。学校、図書館、公園、体育館、ほとんどの施設が原発の交付金で整いました。何よりよそに出なくても地元で仕事があることがありがたかったですよ。

拓　こんな事、事故にあってないから言えんだろ。

住民２　あってますよ。

住民１　私たちは警戒区域から避難してきたんです。

部員達　ええー！

住民２　福島原発の地元では、住民の三人に一人が原発関連の仕事に就いてます。原発に出入りする弁当屋さん、保険代理店、近隣の飲食店なども含めると、一世帯にひとりは原発と何らかの関係を持って生活しています。国や東京電力がやってるから大丈夫という安心感が地元住民のなかにはありました。

住民３　十数年、原発で事務の仕事をしてきました。六十歳近くなって、二十万近い月収のある仕事は他にありません。私は東電を許します。それで生活してきたわけですから。これは天災です。天災に勝てる者はいません。

有希　人災だよ、原発さえなかったら避難しなくて良かったんだし。

大熊町職員　福島県大熊町の役場のものです。わが大熊町では、電源三法交付金のおかげで中学三年までの子供の医療費無料化など手厚い福祉サービスを提供して参りました。二〇〇九年度の財政力指数は一・二五と、県内二番目の高さでした。しかし、今回の原発事故で住民税や固定資産税などの税収入は見込めません。地震さえ無ければ…。そう思わずにはいられません。

安全マン（恵の父親）　今原発が無くなったらどうなる？ 何千という人が職を失うんだぞ。当然人口は減少、経済は停滞、町は第二、第三の夕張にもなりかねない。原発のある町はどこもそうだ。だから必死なんだ。

〈恵と作業員達がやってくる〉

作業員Ｃ　でも実際に被ばくすると、命より仕事を選んだ意味って何だったのかと思います。

作業員Ｂ　家族のためにと思って仕事をしてきました。ただ、それが良かったことなのか…。

安全マン　恵、お前何でここにいるんだ。

恵　お連れしたの、パパに話したいことがあるって言うから。

作業員Ａ　地震の時は、福島第一原発の原子炉建屋最上階にあるオペレーションフロアにいました。

解説者　東電協力会社社員、各地の原発を転々として、定期検査関係の仕事に従事。

作業員Ａ　揺れが激しく、近くの機器につかまって何とか立っていました。停電で薄暗いなか、地震の揺れで使用済み核燃料プールの水が波打ち、フェンスを越えて外にあふれだしているのが見えました。そのうち、じわーっと地面がぬれだし、私が避難する時にはくるぶしのすぐ下まで水浸しになりました。自分はくるぶしまである靴を履いていたので汚染されてないと思いますが、プール近くにいて水をかぶった人がいるかもしれません。

作業員Ｂ　福島第二の地下で冷却系設備の点検・整備作業をやっていました。立っていられないほどの揺れで、やっとの思いで階段を上り外に出ると、耐震工事に使っていたクレーンのアームがぽっきりと折れてぶら下がっていました。

解説者　東電協力会社社員、福島県浪江町在住。

作業員Ｂ　やっとの思いで家に帰り、翌日、町の用意したバスで町外に出ました。その後、社長から電話があって、日当八万円で、第一原発の放射能測定の仕事をやってくれないかと言われました。けど断りました。お金をもらっても、やはり放射能は食いたくないもん。…でも、どうしても、と頼まれたら行かざるを得ない。うちのように孫請け、曽孫請けの小さな会社になると、東電から頼まれて断ったら、もう仕事をとれなくなってしまうかもしれませんから。

作業員Ｃ　免震重要棟という建物内の会議室にみんなで雑魚寝してます。

解説者　東電協力会社社員、現在も福島第一原発で電源の復旧作業に従事。

作業員Ｃ　支給されるのは毛布一枚だけ。しかも簡易防護服を着たまま眠るんです。五百人以上の作業員が出入りしているんで、すし詰め状態。部屋に入れずに廊下で寝ている人もいます。裸になると高濃度の放射線を浴びる恐れがあるので、風呂もシャワーも使えず汗も流せません。

解説者　免震重要棟は放射性物質が入り込まないようにした施設で、今回の事故直後に作業員が唯一、マスクなどを取って事務作業や休憩ができる場所だった。

解説者　ところが免震重要棟の扉が三月の水素爆発で歪み、放射性物質が入り込んでいたことが後に発覚。マスクの装着指示が徹底されていなかったため、作業員が内部被ばくしてしまった。

作業員Ｃ　ここに来る前に元請けの事務所に行ったんですが、驚きました。机の上に誓約書が置いてあり、そこには「最大二五〇㍉シーベルト以上の放射線を浴びても、私は自分の意思で働く」…

解説者　二五〇㍉シーベルトは、三月十五日厚労省が定めた緊急時の作業員の被ばく限度量。

作業員Ｃ　こんな書面を書かされたのは初めてですよ。強制じゃないからって社長は言ってましたが、『そんなに危ないならやめます』とも言えません。サインをしました。通常、親会社が管理している「原発手帳」を持たないと原発内部に入れないのですが、社長が今回は必要ないって。

解説者　原発手帳とは「放射線管理手帳」の通称。原発への出入りや毎回浴びた放射線量などが記録され、規定の被ばく量をえた作業員は、原発で仕事をしてはいけない規定になっている。

現場作業員Ｃ　なくしたり、外部に持ち出したりすることのないようにと厳しく言われてるんです。すごい放射線量が測定されると誰も働けなくなってしまうから、持たせないようになったんじゃないかって、うわさしています。

解説者　原発作業員だった息子の被ばくによる労災認定のために闘った嶋橋美智子さん

美智子さん　何年もの間、私には何も見えておらず、自分の息子がどこで働いているのか知りませんでした。今、あの子の死は殺人であると分かっています。

解説者　一九九一年十一月二十日午前四時五十五分、嶋橋伸之さんの白血病との闘いは終わった。発症から二年一カ月。

解説者　浜岡原発で約九年働き、二十九歳一カ月の人生だった。

解説者　その間の被ばく線量は、五〇・六三㍉シーベルト。

解説者　年間では最多の年でも九・八㍉シーベルトで、法令で定める年間被ばく線量限度の五〇㍉シーベルトを大きく下回っていた。

美智子さん　体中が痛かったんでしょう。ベッドに触れると振動が響いて痛いと怒ってね。歯茎からの出血が止まらず、ふいてもふいてもあふれてくる。血がにじんだタオルを入れたごみ袋がいくつもできた。…私に甘えず、世話を焼くと怒っていた伸之が、亡くなる数時間前、ぎゅっと私の手を握ったんです。そして私の顔のマスクを一生懸命ずらそうとする。無菌室だからと元に戻しても、やめなかった。最期に私の顔が見たかったんでしょうか。

解説者　伸之さんは原子炉の定期検査の際、炉の下にもぐり、装置を取り外して調べる仕事をしていた。

嶋橋美智子さん　原発は、コントロール室からコンピューターですべて制御している印象を私自身も持っていました。でも実際は最も大切な整備や検査は、伸之のような下請け作業員の手に頼っている。それなしに原発は動かせないんです。自分の責任を果たすため、誇りを持って働いている人が、被ばくし続けているんです。

解説者　原子力施設での作業員の被ばく線量は、放射線管理手帳に記載され、放射線従事者中央登録センターが一元的に管理している。

美智子さん　やっと手に入れた手帳は、訂正印だらけで真っ赤。ほとんど被ばく線量数値の訂正で、伸之が死んだ翌日のもありました。通院中だったのに健康診断の結果、作業従事可とされていたり、入院中にもかかわらず職場の安全教育を受けたことになっていたり…。白血病と診断される一年半前、白血球数が一万三千八百と、異常に高い記録がありました。それでも判定は「異常なし」でした。この手帳は、本当に伸之の役に立っていたのか。体に危険かもしれない放射線の数値がいくつも間違っていた。自分の被ばく量を知っていたんでしょうか。私には、企業が労働者の被ばくを管理するためだけの手帳のように思えるんです。

解説者　九四年七月末、磐田労働基準監督署は申請を認め、原発での被ばくと病気には因果関係があると判断した。だが中部電力は、

解説者　国の定める年間被ばく限度は五〇㍉シーベルト以下で、労災認定は被ばくと病気に直接的な因果関係があることを意味していない。

解説者　と、記者会見などで述べた。

美智子さん　労災と認定されたのに、どうして電力会社は病気と仕事は関係ない、と言い切るのでしょうか。原発で働く若い人たちをこれ以上、あの子と同じ目に遭わせたくないです。

イアン　チェルノブイリの灰をかぶったんだ。

ミドリ　イラク戦争に反対するデモで、イアンという青年に出会った。

イアン　日本人だって？

ミドリ　イラク戦争と劣化ウラン兵器に反対する活動を行っています。藤澤みどりと言います。

イアン　日本の人はヒロシマの経験があるから放射能の悪影響に敏感だね。放射能がどんなにひどいことをするか、僕もよく知ってるよ。

ミドリ　かぶっていたキャップをとったイアンの頭は、やけどのように広い範囲があちこち赤むけて、ぬれたようにてらてらしていた。そして金色の髪の束が少しずつ、ここが頭であることの申しわけのように生え残っていた。赤むけた皮膚は頭から首筋のほうへ、その下へとずっと続いているようだった。

イアン　チェルノブイリ原子力発電所の四号炉が爆発した翌日、まだその爆発が隠されてたんだ。僕はビーチで遊んでた。なにしろいい天気だったから。

ミドリ　放射性物質をじかに浴びただけでなく、海で泳いでいたので口から体内にも取り入れた可能性があり、その影響か、ひどく体が弱いという。

イアン　二日目の夜になって、ソ連の通信社がやっとチェルノブイリ原子力発電所での大爆発を報じたんだ。

ミドリ　その大爆発を知っていたら、どんなに天気が良くても子どもを海岸になどやらなかったろうに、外でなど遊ばせなかったろうにと、イアンの母親は悔やみきれず、きっと何度も泣いたろう。

解説者　福島第一原発で水素爆発が発生してからまもなくの三月十七日、ロイターのウェブサイトに「チェルノブイリ・ベイビー」の証言が掲載された。

解説者　チェルノブイリで爆発が起きたときは、まだ母親の体の中の卵子のひとつに過ぎなかったナスターシャ。

ナスターシャ　私の子ども時代は命にかかわる負の遺産につきまとわれていました。同じ学校の女の子の一人は片手の指が六本ありました。私の甲状腺はいつも肥大していますし、私も家族もずっとガンを恐れていくことになるでしょう。津波に襲われた福島原発の暗い影の中で生活し、この先の影響を心配されている日本の方々が、そんな運命にならないようにと願っています。

ミドリ　ナスターシャはチェルノブイリから五百㌔離れたベラルーシのモギリョフで生まれた。スモッグが何日も漂っていたとき、何が起きていたか、彼女の両親は知らなかった。説明は何もなかった。テレビもラジオも、役人の口からも。市民は自分の吸っている空気がどんなものか気づかずに、汚染された通りを歩いていた。大量の放射性物質が放出されたと外の世界は知っていた。

ナスターシャ　私は事故の三年後に生まれました。出生率は急激に下がり始めていました。事故のあとに生まれた赤ちゃんにいろいろな異常があって、みんな子どもを持とうとしなくなったんです。

ミドリ　ベラルーシはチェルノブイリから出た放射性降下物でもっとも汚染された国で、汚染が完全に取り除かれた地域はまだほとんどない。

ナスターシャ　広大な森が鉄条網で立ち入り禁止にされていて、「放射能危険」という黄色の標識があちこちにあったのを覚えています。

ミドリ　ナスターシャの世代の、特にウクライナとの国境に近い地域に住む人は、「チェルノブイリの子どもたち」として知られるようになった。

ナスターシャ　事故から二十五年たって生まれる子どもも、やはり脅かされています。その子どもも孫もです。子どものころに放射能にさらされた影響はずっと体に残ります。もし私が子供を産んだら、その子にも伝わると分かっています。でも今できることは何もありません。

ミドリ　世界の反核活動家はしばしば原子力発電にも反対の立場にたつ。「ノー・ニュークス」と言えば、それは核兵器と核発電の両方に反対する意見表明にもなる。

イアン　施設の前で抗議行動をしていると警備員が出てくるだろう。そうすると帽子を取って頭を見せてやるんだ。これが放射能のやったことだって。

ミドリ　チェルノブイリと福島の事故を比べることはナンセンスだと言う人がいる。だがそれは一瞬の出来事か緩やかに進行しているかが違うだけだ。数十年前の爆発の被害を今から防ぐことはできないが、今日本の核施設から拡散されつつある放射性物質によって、被ばくする被害者の数を低く抑えることは可能だ。一瞬の爆発に逃げ場はないが、ゆっくりした爆発からは逃げ出すことができる。数十年後にはできないことが、いまならできる。

イアン　さらされる時間が長くなるほど放射性物質は体の中にたまっていくんだ。

ナスターシャ　決断を遅らせるべきではないと思います。

ミドリ　「フクシマの子どもたち」と呼ばれる世代を作り出してはならないと、「チェルノブイリの子どもたち」が身をもって教えてくれています。

有希　これでも原発続けるって言えますか。

安全マン　心配するのは分かる。だが日本には資源がない。資源がない国にとって、経済発展のためには原子力が必要なんだ。

恵　経済って人の命より大事なものなの？

有希　日本だけじゃない。世界中の人を危険にさらしてます。

解説者　オーストラリア、ノーザンテリトリー。ここでウラン鉱山の採掘権料によって生活してきたミラー族のアボリジニは語る。長老イヴォンヌ・マルガルラ。

田根

マルガルラ　日本の原子力企業とオーストラリアのウラン採掘業との間の長い歴史を考えると、日本の原発で使われているウランは、私たちが伝統的に所有してきた土地から採掘されたものである可能性が高いと考えられます。それを思うととても悲しくなります。そこで、おそらく世界最大の未開発ウラン鉱山であるジャビルカの開発に反対することを決めました。反対する理由はそれだけではありません。ウラン採掘により土地は私たちから遠くなり、破壊されました。今は、汚染された岩が積み上げられ、毒を含んだ土に大きな穴があいています。

地域を襲った大雨により、今ウラン鉱山には千㌧の高濃度汚染水が閉じ込められています。

あと百㍉の雨が降れば私たちの居住地にも流れだすと言われています。

私たちはウラン鉱山から、日本円にして百七十億円以上の採掘権料を得ています。しかし、鉱山の採掘は生活を完全にひっくり返し、アルコールへの依存とお金を巡る醜い争いを引き起こしました。私たちは採掘権を放棄し、ウラン採掘を制限することを決意しています。

解説者　伊藤忠、丸紅をはじめとした日本の大手商社はウラン鉱山の開発に出資している。

解説者　ウラン鉱山の労働者や輸送経路の地域住民には健康被害が出たと報告されている。

解説者　天然ウランの中には核兵器や原子力発電に用いることのできるウラン２３５が、０・７２％程しか含まれていない。

解説者　これでは濃度が低すぎるので、発電には３％程度にまで濃縮したものを使う。

解説者　日本の発電用濃縮ウランは、日本の工場だけでは各発電所に供給できるだけの量を生産できない。

解説者　そこでアメリカに送って濃縮してもらい、その濃縮ウランを輸入している。

解説者　その濃縮の過程で「搾りかす」にあたるいわゆる劣化ウランが生み出されることになる。

解説者　ＤＵとも呼ばれる劣化ウランはその９９．８％をウラン２３８が占める。

解説者　ウラン２３８はアルファ線を出して崩壊する放射性物質。

解説者　今までに、アメリカだけでも約七十万㌧以上、世界全体では百五十万㌧以上、日本の原発だけで年間七千㌧以上の劣化ウランが生み出されている。

解説者　この途方もない量の放射性廃棄物をどうしたらよいか。

解説者　アメリカは思いついた。

解説者　「兵器に利用すればいい」。

解説者　ＮＯ　ＤＵヒロシマ・プロジェクトの森瀧春子事務局長の報告。

森瀧事務局長　二〇〇三年六月から七月にかけての二週間、ブッシュの戦争勝利宣言直後のイラクに入りました。イラク戦争の被害、特に劣化ウラン弾の被害の実態を調査するためでした。ジャナン・ハッサン医師は、私たちに問いかけました。

ジャナン・ハッサン医師　なぜ、がんや白血病の子どもたちがこんなに増え続けたのか。なぜ、生まれながらにして知的、身体的障害がある子どもたちが異常に増え続けるのか？　なぜ、母親たちは赤ちゃんを出産した時、「男の子か女の子か？」ではなく、「正常かどうか？　生きているかどうか？」と問わなければならないようになってしまったのか。

森瀧春子・ＮＯ　ＤＵヒロシマ・プロジェクト事務局長　戦後のイラクを訪れて眼にしたのは、物乞いする子どもやおばあさんたちの姿でした。緊迫した空気が張りつめており、病室を訪れて、広島のお母さんたちが描いたお見舞いのポストカードを手渡していた時、お年寄りの女性が私に向かって叫びだしました。

イラクの女性　こんな物は要らない！この子を戻してくれ、子どもの命を返してくれ！

森瀧事務局長　激しく迫るその傍らには、苦しそうにあえぐ、瀕死（ひんし）と見えるお孫さんが横たわっていました。おばあさんはどこにもぶつけようのない怒りを私に向けて、

イラクの女性　ブッシュの戦争のおかげでこんなことになったんだ！　この子を返してくれ！　あんたは何をしてくれるんだ！

森瀧事務局長　そう叫び続けました。戦争を止めることのできなかった私たちに向かって。

〈埼玉大学の市川定夫名誉教授登場〉

市川名誉教授　埼玉大学の市川定夫です。原子力を包むいろんな矛盾の中で、どうにもならなくなった、しかも半減期が四十五億年もある放射性廃棄物が劣化ウランなのです。このような廃棄物は永遠に、しかも安全に保持しなければならないが、そんなことできはしない。それを少しでも減らそうと作り出したのがウラン兵器です。それが、湾岸戦争で使われ、コソボの紛争で使われました。アフガニスタンを攻撃し、さらにイラク戦争で、これまでの最大の量が使われたわけです。

有希　初めて知った時はショックでした。原爆の恐ろしさを知っている国が放射能まき散らす兵器の開発に加担してたなんて。負の連鎖を断ち切るのは日本しかないと思うんです。

安全マン（恵の父親）　兵器に転用したのはアメリカだ。日本の責任では無い。

拓　そりゃ無いだろ。アメリカが劣化ウランを兵器にしてるって知ってんのに。

恵　嫌だよ、自分だけ涼しい部屋で生活するの。こんなに人傷つけてるって知ってんのに。だからどうしてもお芝居に出て、観てる人にこの現実を問いかけたいの。パパ、いいでしょ？

安全マン　勝手にしなさい。

恵　ありがとう、パパ。ありがとう、みんな。

安全マン　ただしこれだけは言っておこう。いかなる理由があろうと原発が無くなることはありえない。原発は絶対に残り続けるんだ。

〈安全マンと社員たちは去る〉

第六章　不都合な事実①

有希　「そんなばかな」と思いました。だってあれだけいろいろな面から原発は有害だって証明したんですから。今回の芝居が脱原発の足がかりになると確信していました。でも、

有希の母　そろそろまずいね。

有希　何、お母さん？

有希の母　有希の母　マスクしてる人も減ってきたし。

有希　そう言えばあんま見なくなったね。

有希の母　このまま忘れられていくんだろうか。

有希　別に忘れてるわけじゃないでしょ。

有希の母　じゃあ面倒くさい？　それが一番怖いんだよ。

有希　ええ？

有希の母　広瀬さんだって言ってるじゃない。

広瀬隆氏　人間の感覚ほどあてにならないものはありません。私たちは日に日に放射能がどこかへきれいに流されて、自分の周りが少しずつ安全になってゆくように感じています。しかし死の灰はまだそのままの形で、相変わらず危険な姿で戻ってくるのです。動物と植物が同じものを狭い世界の中でぐるぐるやりとりをしながら生態系をつくっています。そのため、生態系の中で放射性物質が日に日に濃縮していきます。頭で知っていても何にもならないのです。

智子　頭で知っていても何にもならない―。耳が痛い一言です。理屈では原発は無くすべき、放射能は危険と分かっていても、まだ自分の切実な問題として認識できずにいるのが正直なところです。

拓　マスクつけたほうが良いのは分かってるけど、周囲の目がなあ。

恵　心配しすぎってことはないにしても、周りはそういう目で見てくるだろうなあって思うんです。そう考えると油断ってホント怖いなって思います。

有希　油断は忘却を生みます。

有希の母　これだけじゃないよ。二〇一一年九月七日の読売の社説ではこう言ってるよ。「日本が脱原発に向かうとすれば、原子力技術の衰退は避けられない。蓄積した高い技術と原発事故の教訓を、より安全な原子炉の開発に活用していくことこそ、日本の責務と言えよう。」

高校の演劇部員達　ええ！

有希の母　「高性能で安全な原発を今後も新設していくという選択肢を排除すべきではない。」

智子　読売は一九五五年、米国の原子力平和使節団を招聘するなど、大々的に原子力利用キャンペーンを展開した新聞社です。なので、ここまでは、「いかにも言いそうなことだ」と思っていました。

有希の母　「日本は原子力の平和利用を通じて核拡散防止条約（ＮＰＴ）体制の強化に努めており、核兵器の材料にもなり得るプルトニウムの利用を認められている。こうした現状が、外交的には、潜在的な核抑止力として機能していることも事実だ。」

有希　衝撃の発言です。非核三原則を掲げて、近隣諸国に核兵器の廃絶と研究開発の中止を求めてきた国の最大の新聞が、日本の原発は核兵器に対抗する手段だと認めたのですから。

智子　私たちの間では大騒ぎになっていますが、テレビも他の新聞もこのことを追及しません。

恵　どうなっちゃってんの？

拓　ウダウダ考えてても始まらないわ。というわけで福島に行ってみることにした。

　　　　第七章　フクシマの被災者たち

拓　事故で「計画的避難区域」に指定され、全村避難に至った飯舘村。

飯舘村住民１　日本一美しいと言われた私たちの村は福島第一原発の放射能漏れ事故により一変しました。十月上旬ともなれば、たわわに実った稲穂が黄金色のじゅうたんを敷き詰めたようになっていました。しかし、政府により作付けを禁止された今年は茶色い雑草が生い茂っています。

飯舘村住民２　飯舘村は原発の交付金を一銭も受け取っていません。それなのになんで、この愛する住み慣れた村を離れ、苦渋の生活を長期間にわたってしなければならないのでしょうか。

飯舘村住民３　自然災害なら悔しさも憤りも耐えることもできます。これは人為的災害ではないですか。事故前は「原子力発電所は安全です」と言い、事故が起きたときは「今回の事故は想定外でした」「この数値なら直ちに健康に影響はありません」と言い、事故から一カ月たつと「計画的避難地域になりました。避難してください」

飯舘村住民１　私たちは許せません。絶対に許せません。

飯舘村住民２　私たちは被災者ではなく、被害者なんです。

飯舘村住民３　セシウムの半減期は三十年と聞きました。三十年たって、今毎時四㍃シーベルトあるところが、ようやく二㍃シーベルトに下がります。それでもまだまだ高いです。

飯舘村住民１　飯舘村は除染をしてあたかも放射線量が下がっているかのように報道されていますが、実際は違います。除染して一度下がった土地の放射線量が、また上がってきています。一カ月前より放射線量が高いんです。

飯舘村住民２　７５％が山林です。山の除染はどうにもならない。そしてその山から流れてくる水で田んぼをつくるわけだし、川の魚が育つわけです。

飯舘村住民３　今後、何をすべきなのか、どうしていったらいいのか、正直よくわかりません。こうしてお伝えする中で考えていくことになるんだろうと思っています。

智子　文部科学省は子どもの年間被ばく量を二〇㍉シーベルト以内とし、校庭の放射線量が一時間あたり三・八㍃シーベルト以上なら「屋外活動を一時間以内」にとどめ、未満なら「通常通りで問題ない」と公表しました。

恵　白血病で亡くなった原発作業員嶋橋伸之さんの最高年間被ばく量は九・八㍉シーベルト。国が決めた二〇㍉シーベルトはその二倍強だよ。

有希　放射能に対する感受性は大人の四倍と言われてるのに。

第八章　安心マン①

山下　長崎大学の山下でございます。福島原発事故の放射線健康リスクについてお話をさせていただきに参りました。

智子　　長崎大学教授にして、世界保健機関緊急被ばく医療協力研究センター長にして、日本甲状腺学界理事にして、福島県放射線リスク管理アドバイザーにして、二〇一一七月、福島県立医科大学副学長に就任された、山下俊一さんですね？

山下　一九四五年に原爆が落とされて以来、長崎大学は被ばく者に向き合い、被ばくした方のケアを行って参りました。専門家の話はよくわからん、数字が出てきたり単位が出てくると何のことかさっぱりわからん。どの情報を信用していいのかもわからん。わからんずくめで不安になったり、不信感を持ったりされていると思います。ご安心ください。そういう悪循環を断ちたいということで、長崎の経験を生かすべく私がやって参りました。

拓　何？　安心マン？

山下　さて、放射線がなぜ怖いかと言いますと、エネルギーだからなんです。紫外線でやけどをする人もいますね。みなさん一生懸命、紫外線防護に気を使われます。ただ日焼けするだけではなくて、欧米ではこれが皮膚がんになるからです。じゃあ太陽でみんなガンになりますか？

恵　ならないんじゃない？

山下　そうですよね。放射線は紫外線と異なりエネルギーですから、それが細胞の遺伝子を壊すということで怖がります。でもそのおかげでガンの治療に使うということにもなるんです。放射線はエネルギーとして、一㍉シーベルト浴びると遺伝子の一個に傷が付きます。

部員たち　ええ？

有希　それホントなんですか？

山下　なので一〇〇㍉シーベルト浴びると百個傷が付きます。しかしわれわれは生きています。生きてる細胞はその遺伝子の傷を治します。いいですか。一㍉シーベルト浴びる、でも翌日には治っている。これが人間の体です。

智子　それだと、放射線の被害がないということになりますよね？

山下　一〇〇㍉シーベルト浴びた人百人、その生涯をずーっと調査すると、百人の内一人ガンが起こるかどうかという頻度です。国立ガン研究センターの調査でも証明されてます。

恵　それすごい数じゃない！　百人に一人ガンになるなら、一万人なら百人、十万人なら千人だよ。

国立ガン研究センター研究員１　ガンは、いろんな原因で起こるんです。放射線以外にたばこ、食生活、遺伝的な背景、環境因子。私どもの調査では、放射線による発がんリスクが出始めるとされる年間一〇〇㍉シーベルトを浴びた場合のリスクは、受動喫煙や野菜不足とほぼ同程度であることが判明いたしました。

部員たち　はあ？

智子　何を根拠に？

研究員２　過去に発表された生活習慣と発がんリスクに関する論文と、広島・長崎の原爆で放射能を浴びた十万人の調査結果です。

山下俊一福島県立医科大副学長　ご苦労さま。

恵　受動喫煙って言っても、よっぽどの話でしょ？

研究員１　喫煙者の夫と暮らすごく一般的な女性を想定しています。

拓　野菜不足って何だよ！

研究員２　野菜が不足しがちな人です。

研究員１　ごく一般的なケースです。

研究員２　確率の問題です。年間一〇〇㍉シーベルトの発がんリスクは一・〇三倍から一・〇六倍です。

恵　それじゃ百人のうち三人から六人がガンになるってことじゃない。さっきと数字違うじゃない。

研究員１　喫煙者や毎日三合以上お酒を飲まれる方のリスクは一・六倍ですから、はるかに低いと言えます。

拓　いやいや、たばこやお酒はその人の好みだし、やめようと思えばやめられるじゃん。けど放射能は避けられないし。

有希　たばこやお酒で死ぬ人がどれだけいても、さらに放射能で死ぬ人がいていいわけじゃないでしょ。

研究員２　私どもはむやみに不安がるのではなく、放射線のリスクを正しく理解してほしいと願っています。

恵　不安だって、そんな訳分かんないこと言われたら。

山下氏　落ち着いてください。放射線の影響は、実はニコニコ笑ってる人には来ません。クヨクヨやプンプンしてる人に来ます。これは明確な動物実験でわかっています。

智子　データを示してください！

山下氏　私がデータです。原爆を浴びた両親から生まれましたから、被ばく二世です。しかし、こうやって元気に仕事をしています。

〈ニコッと笑う〉

山下氏　年間一〇〇㍉シーベルト以下は安全という基準は日本の国が決めたことです。古来、山紫水明の八島と呼ばれた大和の国の“和”を大切に、落ち着いて行動していただければと思っています。

有希　安心マン、不安すぎ！

拓　ホント許せないっすね。福島の人が本気で放射能のことで不安になってる時に。

恵　だけど「私がデータです」って言葉にはちょっと動揺したな。

智子　比較的爆心地の近くで被ばくしてもいまだに元気な方もいれば、十㌔以上離れていても白血病にかかる方もいますから、ひとりに限定して語っても意味ないですよね。

有希　結局、どちらを選ぶかなんだと思う。一〇〇㍉シーベルト浴びても安全だっていう意見か、

智子　二〇㍉シーベルトでも危険だという意見か。

恵　放射線被ばくは、どんなに低い線量でもリスクがあるんだよね。

智子　日本政府は、年間一ミリシーベルトという基準を、勝手に二〇ミリシーベルトに上げ、それ以下の地域からの避難を補償していません。

有希　一〇〇㍉シーベルトでも安全と思ってた人が、「ホントにそうかな？」って考えるきっかけになるような芝居にしたいね。

智子　あと原発を核抑止に利用できるって人も。

恵　あー、考えて欲しい！

拓　結構大変っすね。安心マンみたいなの論破しつつ、核の脅威の話にも踏む込むわけでしょ？

有希　でも見ないふりするわけいかないよ、そういう問題があるって知ってしまったのに。

鉢呂 (非常に憔悴している)残念ながら周辺市町村の市街地は人っ子一人いない…、…まさに死の町という形でした。

智子　二〇一一年九月九日に福島第一原発などを視察した印象として「死の町」と発言し、九月十日、発言の責任を取り、辞任した、元経済産業省鉢呂吉雄大臣ですね？

鉢呂吉雄相　政府はエネルギー政策を大臣レベルの『エネルギー・環境会議』と経産省の『総合資源エネルギー調査会』の二段構えで検討する段取りになっていました。このうち、総合資源エネルギー調査会は法律に基づく会議のため、政権が代わっても、エネルギー政策の基本路線に大きな影響を及ぼします。ここのメンバーは私が着任する前の六月の段階で、すでに委員の顔ぶれが内定していました。全部で十五人のうち三人が原発反対派で残りの十二人が賛成派です。私は事故を受けて、せめて賛成派と反対派が半数ずつでないと、国民の理解は得られないと思いました。それであと九人から十人反対派を加えて、賛成派と数を合わせるつもりでした。後は記者発表するばかりだったんですが……。リストは後任の枝野幸男大臣に引き継ぎました。後はどう選んでくれるかだと思っています。

智子　結局枝野さんが、追加メンバーとして、四人の反原発派と一人の発電・送電分離派を任命。原発推進派が多数を占める以上、結論は見えています。

有希　せっかく脱原発に方向転換するんだと思ったのに、大臣の辞任騒ぎでうやむやになっちゃったよね。

拓　原発事故で「死の町」みたいにさせた東京電力や、推進してきた歴代政権が責任取るべきだろ。

智子　世界に例を見ない三機同時メルトダウンを引き起こした責任をまず取る必要がありますよね。

恵　無理だよ、もう、脱原発なんて。

智子　無理って言わないでください。いいんですか、このまま原発残り続けて。

恵　そうだけどさあ……。

智子　その時、外から小学生の声が聞こえてきました。

〈外から小学生が歌う「げ、ん、ぱ、つ、い、ら、ない！　げ、ん、ぱ、つ、い、ら、ない！　……」、「さよならー、原発さよならよー」という歌が聞こえてくる〉

有希　広がってんじゃん、ちゃんと。

第九章　変わる世界①

福島の母１　私たち郡山市の十四名の親たちは、郡山市を相手取り、年一㍉シーベルト以下の安全な場で教育を実施するよう求める裁判、「ふくしま集団疎開裁判」を申し立てました。福島県では、依然として、大多数の子供たちと親は、先生や友人たちと別れたくないという思いや、自主避難する場合の経済的負担等で思い悩み、不安な日々を送っています。

福島の母２　二〇一一年六月三十日、福島市の子どもたちの尿の検査で、十人中十人からセシウム１３４と１３７が検出されたと発表されました。目の前が真っ暗になりました。

福島の母３　給食でも福島産の野菜が使用されています。「もっと安全なものを食材に使ってほしい」と学校に言うと、「福島県産が危険などと、地元から風評被害をあおるようなことはしないで」と怒られる。幼稚園や保育園でも、福島県産の牛乳を飲ませていて、「他の牛乳に代えてほしい」と言っても、「そんなことは絶対できない」と言われます。「だったら自分の子どもだけは飲ませないでほしい」と言っても、断られるんです。

福島の母４　現在、厚生労働省で定められている食品の暫定規定値のものを食べ続けると、目標の一㍉シーベルトをはるかに超えて、年間一七㍉シーベルトまでいってしまいます。

福島の母２　避難区域の圏外から避難した人たちは、支援の対象外で、医療費や介護費の免除もない。かってに自主避難のレッテルを貼られて支援の対象から外されています。

福島の母４　自宅近くの国道付近の雑草からはチェルノブイリ原発事故の強制移住ゾーンの六倍の数値が検出されました。そんな場所から避難したいと思うのは当たり前の感情です。子供たちを見捨てるようなまねはしないでほしいんです。

福島の母１　今、福島に人をとどまらせているのは、反射的に、ここで今まで通り生活したいという圧倒的に強い思いなんですよ。自主避難をしたくても経済的にできない家庭も多い。だからこそそんな選択を個人レベルで判断させちゃいけないんです。

福島の母２　子供たちは、三月の事故以来八月末までの積算値が七・八から一七・一六㍉シーベルトに達するような環境で、教育を受けなければならないのでしょうか。

福島の母３　チェルノブイリでは事故後、五、六年たって甲状腺の病気が急増し、九年後の一九九五年には子ども十人に一人の割合で症状が現れました。

福島の母４　甲状腺の病気にかかった人のうち、１０％強が、がんを発症しています。

福島の母１　子どもと避難民を粗末にするような国には未来はありません。今、行政はすみやかに学校ごと疎開するという決断をすべきです。

恵　福島県郡山市の小学生、中学生たちが市に対して、「集団疎開」を求めていた裁判は一審で却下された。

智子　一〇人が引き続き仙台高裁に即時抗告しました。しかし、二〇一三年四月、仙台高裁は（仮処分）申請を却下しました。

福島の母２　裁判長は判決で「低線量の放射線に長期・継続的にさらされることで、生命・身体・健康に対する被害の発生が危惧される」とし、「チェルノブイリ原発事故後に発生した子どもの健康被害をみれば、福島第一原発周辺で暮らす子どもにも、由々しい事態の進行が懸念される」と明言しました。

福島の母３　除染技術の未開発、汚染物質の置き場不足で除染作業が進まない現状は「被ばくの危険から容易に開放されない状況」とも言及しました。

福島の母２　ただ、結論は「現在の空間線量では、直ちに健康に悪影響を及ぼす恐れがあるとは認めにくい」

福島の母４　「郡山市内に住み続けるならば、学校外での生活で年間一㍉シーベルトを超える被ばくをする計算になる。学校だけを疎開させても意味がない」ので却下する、ということでした。被ばくを避けるためには、他の地域に移住するしかありません。それは「自主避難すればいい」ということですよね。

福島の母１　子どもらの安全確保のために行政が果たすべき義務とは何でしょうか。結局自己責任にすり替えられていきます。

拓　二〇一一年九月、埼玉県産の販売されていたお茶から、暫定基準値の約三倍である一㌔当たり一五三〇ベクレルの放射性セシウムが検出。

有希　千葉県産のお茶からは二七二〇ベクレル。

恵　横浜市港北区では、道路側の側溝にたまった乾いた泥から一㌔当たり四万二〇〇ベクレルを検出。

智子　一〇月、静岡県伊豆市内で乾燥しいたけから検出された放射性セシウムは一〇三三ベクレル。

拓　千葉県の我孫子市と君津市のしいたけでは七九五から一九三五ベクレル。

恵　広島県内在住の母親二人の母乳から微量の放射性セシウムが検出されたと発表。

智子　放射能汚染への不安と不満が全国で高まりを見せる中、二〇一一年九月、東京の明治公園で、「さようなら原発　五万人集会」が開催されました。脱原発をテーマにした集会としては過去最大となりました。

〈「ハイロ・アクション福島」の武藤類子氏登場〉

武藤氏　「ハイロ・アクション福島」の武藤類子です。三・一一原発事故を境に、目には見えない放射能が降り注ぎ、私たちは被ばく者となりました。素早く張り巡らされた安全キャンペーンと不安の間で、毎日毎日、いや応なく迫られる決断。逃げる、逃げない。食べる、食べない。子供にマスクをさせる、させない。洗濯物を外に干す、干さない。畑を耕す、耕さない。なにかに物申す、黙る。さまざまな苦渋の選択がありました。

そして今、半年という月日の中で、次第に鮮明になってきたことは、事実は隠されるのだ。国は国民を守らないのだ。事故はいまだに終わらないのだ。福島県民は、核の実験材料にされるのだ。ばく大な放射能のゴミは残るのだ。大きな犠牲の上になお、原発を推進しようとする勢力があるのだ。私たちは捨てられたのだ。口をついて出てくる言葉は、「私たちをバカにするな」「私たちの命を奪うな」です。

福島県民は今、怒りと悲しみの中から静かに立ち上がっています。私たちとつながってください。私たちが起こしているアクションに注目してください。できることは誰かが決めたことに従うのではなく、一人ひとりが、ほんとうにほんとうに、本気で自分の頭で考え、確かに目を見開き、自分ができることを決断し、行動することだと思うのです。一人ひとりにその力があることを思い出しましょう。

原発をなお進めようとする力が、垂直にそびえる壁ならば、限りなく横に広がり、つながり続けていくことが私たちの力です。

有希　トルコのシノップ市では、日仏合同事業による原発建設が予定されています。毎年行われる反原発デモに参加したプナール・デミルジャンさん。

プナール・デミルジャン　ここシノップ市は、チェルノブイリ原発事故により大きな被害を受けた場所で、風力や太陽光発電の大きな可能性を秘めています。住民はほかのエネルギー資源を検討せずに原発に投資するトルコと日本政府に反対しており、「三菱はこの街に風力発電機を設置するべきだったのに」と悔しがっています。

私たちは、日本の国会宛に原子力協定の即時撤回を求める要請書を送りましたので、国会議員にはトルコ人の６０％が原発反対だということもわかったはずです。しかし、残念ながら協定は承認されてしまいました。是非、日本の皆さんにトルコ人の憂える事情を伝えてください。私たちの未来が盗まれているところなのです。

恵　日本側は、シノップ原発を襲う地震の揺れの想定を、小さめに評価してたことが二〇一七年の一月にわかったんだって。

拓　やばいよ、トルコって、地震大国なんだろ、日本とおんなじ。

智子　安倍政権は原発輸出を「国策」として強く推進しています。二〇一六年十一月には、日本とインドの間で原子力協定が結ばれています。

ラリータ　ラリータ・ラムダスです。四十年以上、原発と核兵器をなくすために、たたかってきました。私の村はインドのジャイタプールより百五十㌔北に位置し、そちらにはフランスのアレバ社が六基の原発を建てる予定、これが実現されるなら、世界でもっとも大規模な原発基地になります。インドは現在二十二基の原発をもっており、新たに四六基の建設計画があります。

日本の市民と弁護士は日本の五十四基の原発のうち五十二基を停止させている。このことをインドの市民と弁護士に伝えます。福島の人々は核爆発、メルトダウン、大変な破壊を生き抜きました。原発について、電力会社も政府も完全に安全ですと約束していました。この死と破壊の原因の原発を、なんで、インド、トルコなど他の国に売るのですか？

有希　ドイツ政府は二〇一一年六月に、国内原発一七基を全て廃止することを柱とした原子力法改正案を閣議決定。

智子　フランスの大手エネルギー会社エンジ―は、二〇一六年末、トルコで計画されている日仏共同事業のシノップ原発プロジェクトから撤退すると報じられました。

エンジーは、太陽光発電のコストは二五年までに、ほとんどただ同然になる、という調査結果を明らかにしています。

拓　（エンジ―の記事を読む）「ソーラーパネルの発電効率は技術革新によって今後も向上し、製造コストも低下が続く。今後、世界の発電は太陽光発電が中心となり、火力発電は送電網を維持するうえでの補助的役割を果たすことになる。」

恵　コスタリカは一六年五月から、四カ月超に渡って再生可能エネルギー一〇〇％化を達成。

拓　台湾政府は、二〇二五年には「原発ゼロ」にすることを決める。内閣は原発の代わりに再生エネルギーの比率を今より五倍に増やす方針をすでに出している。

有希　ベトナム政府は一六年十一月に、日本が輸出することが決まっていたニントゥアンの原発建設計画を白紙撤回すると発表。財政難が主な理由だけど、原発のリスクについてもふれられている。

恵　東芝は、米国の原発事業において最大で七〇〇〇億円を超える損失を出す可能性がある。

智子　三菱重工は米国の原発事故を巡り、約１４１億円の損害賠償を米電力会社へ支払うことが決定された。

拓　日立製作所は一七年二月、米国でのウラン濃縮技術を開発する事業から撤退し、約七〇〇億円の損失を計上する方針を明らかにした。原発をめぐる事業環境は厳しく、想定通りの収益を見込めないと判断した。

有希　経済産業省は一六年十二月、東京電力福島第一原発事故に伴う廃炉、賠償などの費用の総額が二十一兆五千億円に上るとの試算を公表。

智子　これまでの見積もり額十一兆円から倍増となり、従来二兆円との想定だった廃炉費用は八兆円と四倍も増額となった。

恵　賠償費に関しては、原発を持たない新電力の利用者を含めた、電力を需要する全ての家庭に負担させることを検討している。

歴史学者加藤陽子氏　歴史学者の加藤陽子です。地震と津波の直後に、東京電力福島第一原発の複数の炉が制御不能となった。テレビの映像を見ながら私の頭に浮かんだのは大岡昇平氏の言葉だった。

大岡氏　昭和十九年に積み出された時、どうせ殺される命なら、どうして戦争をやめさせることにそれをかけられなかったかという反省が頭をかすめた。

加藤氏　大岡氏が、自らの戦争体験を語った「戦争」の一節である。

大岡氏　これまで自分は、軍部のやり方を冷眼視しつつ、戦争に関する知識を蓄積することで自ら慰めてきたが、それらは、死を前にした時、何の役にもたたないとわかった。自ら戦争を防ぐという行動に出なければならなかったのにもかかわらず、自分はそれをしなかった。よって、戦争や軍隊について自分が書く時には、自分がそれらを「許容していた」という、率直な感慨を前提として書かねばならない。

加藤氏　この大岡氏の自戒は、同時代の歴史を「引き受ける」感覚、軍部の暴走を許容したのは、自分であり国民それ自体なのだという洞察だろう。以上の文章の、戦争や軍部という部分を、原子力発電という言葉に読み替えていただければ、私の言わんとすることがご理解いただけるだろう。

原発を地球温暖化対策の切り札とする考えは、説得的に響いた。また、鉄道とともに原発は、パッケージ型インフラの海外展開戦略の柱であり、政府の策定にかかる新成長戦略の一環でもあった。生活面でも「オール電化」は、火事とは無縁の安全なものとして語られていた。これらの事実を忘れてはならない。私は「許容していた」。

市民科学者、高木仁三郎氏　市民科学者の高木仁三郎です。問題は、私たちが世界の民衆とどんな関係を結ぼうとするかという、私たちの姿勢の問題なのだと思います。広島や長崎の体験を受け継ぎ、語り継ぐことは、核の被害者と再びなるのを拒否することであるとともに、再び戦争や侵略の加害者となることもはっきり拒否する地平において可能となるでしょう。そして今、私たちは、「みずからの加害性」を直視すべき位置に再び立たされているのです。

小出助教　京都大学原子炉実験所にいた小出です。原子力に反対して活動している人たちの大きな根拠の一つに「いのちが大事」ということがある。しかし、「いのちが大事」ということだけなら、原子力を推進している人たちにしても否定しないだろう。決定的に大切なことは、「自分のいのちが大事」であると思うときには、「他者のいのちも大事」であることを心に刻んでおくことである。自らがまいた種で自らが滅びるのであれば、単に自業自得のことにすぎない。

問題は、自らに責任のある毒を、その毒に責任のない人々に押し付けながら自分の生命を守ったとしても、そのような生命は生きるに値するかどうかということである。私が原子力に反対しているのは、事故で自分が被害を受けることが怖いからではない。原子力とは、徹底的に他者への搾取と抑圧の上に成り立つものである。その姿に私は反対しているのである。

世界がかかえる問題に向き合って、いわれのない犠牲を他者に押し付けずにすむような社会を作り出すためにこそ、私の生命は使いたい。そして、そのような社会が作り出せたその時に、原子力は必然的に廃絶されるのである。

〈途中から人々が現れ、小出助教を取り囲み、話を聞いている〉　　　　幕

※参考資料

・内橋克人著『日本の原発、どこで間違えたのか』（朝日新聞出版）

・平成二十二年度原子力・エネルギーに関する課題研究コンクール応募作品

・小出裕章著『放射能汚染の現実を超えて』（河出書房新書）

・ＮＨＫ「東海村臨界事故」取材班編集「朽ちていった命―被曝（ひばく）治療八三日間の記録―」（新潮文庫）

・広瀬隆著『東京に原発を！』（集英社文庫）

・「アエラ」（朝日新聞出版）２０１１年５月１５日号「原発と日本人　１００人の証言」

・「現代ビジネス」（講談社）「福島第一原発作業員が激白！『恐怖と疲弊、過酷な場当たり労働』」、

（http://gendai.ismedia.jp/articles/-/2771）

・共同通信２０１１年５月８日配信記事「求人と違い『福島原発で作業』」

・隠された被爆労働～日本の原発労働者

（http://www.youtube.com/watch?v=92fP58sMYus&sns=em）

・ＴＵＰ速報９０６号チェルノブイリ・ベイビーから「福島の子どもたち」へ

・エコロジーオンラインニュース「アボリジニがウラン採掘に反対」

（https://www.eco-online.org/2011/05/02/オーストラリア発-アボリジニがウラン採掘に反対/）

・「イラクへの戦争被害・劣化ウラン弾ヒロシマ調査団」報告会 報告：森瀧春子 二〇〇三年七月一八日

・広瀬隆著『危険な話ーチェルノブイリと日本の運命―』（八月書館）

・読売新聞社説（二〇一一年九月七日）

・山下俊一氏・高村昇氏「放射線と私たちの健康との関係」講演会(二〇一一年三月一一日)

・国立がん研究センターＨＰ

(<http://www.ncc.go.jp/jp/shinsai/index01.html#03>)

・放影研「原爆被爆者の死亡率に関する研究　第１４報」

・たね蒔きジャーナル「水俣病から見つめる原発事故の未来」1/2

（<http://youtu.be/qMu-pQWY2kI>）

・『世界』　第八二三号より「メディア批評」神保太郎

・情報サイト「ＦＩＮＡＮＣＥ　ＧＲＥＥＮ　ＷＡＴＣＨ」の「日本の原発輸出に反対するトルコの市民たち」、「ノーニュークス・アジア・フォーラムジャパンのホームページ

・「フォーサイト」（新潮社）の「台湾だけではない『原発事業』世界的衰退の実情」

・毎日新聞二〇一一年五月二〇日朝刊「時代の風」加藤陽子氏